

## 【調査の目的】

国家公務員の定年退職者の退職後の就業状況や収入・支出等の生活状況を把握し、結果を以下に活用

- ✓ 民間企業の高年齢者就業確保措置（70歳までの就業確保の努力義務化など）の動向を踏まえた国家公務員の高齢期雇用等の在り方、生涯設計施策等を検討する際の基礎情報とする。
- ✓ 職員がリアルな退職後を認識するために、結果をHPで公表し、生涯設計セミナー資料にも活用する。

## 【調査の内容・結果】

- ◆ 対象者数 : 2022年度の60歳定年退職者 7,144人 有効回答率 : 73.3% (5,233人)
- ◆ 調査期間・方法 : 2023年9～10月、オンライン及び郵送にて実施
- ◆ 調査項目と結果 :

### 1. 就労の状況（就労状況、何歳まで働きたいか）

- ・「定年後も働きたい」は83.3%、調査時点での就労率は87.6%。働きたい理由は「生活維持のため」が85.7%と最も高いが、経済的な理由以外では「社会との接点や生活の張り・生きがいを持ちたい」が44.0%、「社会や職場に貢献したい」が34.4%、「健康維持のため」が31.4%など
- ・「65歳まで働きたい」と65歳以降も働きたい者を合わせると81.3%と8割を超え、特に、65歳以降も働きたい者は36.2%で、前回調査時（28.7%）に比べ7.5ポイント増加

### 2. 再任用関係（就労者に占める国の再任用者の割合、再任用を希望した理由）

- ・就労者の79.2%が国の再任用職員（フルタイムは53.6%）、希望した理由は「知識・経験を活かしたい」が最大で66.2%
- ・暫定再任用の評価で、「満足」と「ほぼ満足」の割合は「知識・経験の活用」、「勤務形態・勤務時間」、「仕事内容」では6～7割程度、「ポスト・格付け」と「休暇」は共に5割を割り、「給与」は2割未滿

### 3. 退職後の家計・生活状況（就労・非就労別収支の状況、生活状況）

- ・家計の状況は「ゆとりはないが赤字でない」との回答が最も多く38.8%。「時々赤字」（23.3%）と「常に赤字」（18.2%）を合わせると41.5%と約4割

### 4. 生涯設計関係（退職後や生涯設計について考え始めた時期、知りたかった情報）

- ・退職後の生活や生涯設計について「考え始めた時期」は50歳台以降が88.6%、一方で「考え始めるべきだった時期」は、40歳台以前と答えた者が53.4%（40歳台：40.0%、30歳台以下：13.4%）と5割を超えている。
- ・今後の生活における懸念や不安は「自分の健康や介護」と「家族の健康や介護」が共に約75%と、「家計に関すること」（42.2%）などと比べて高い割合となっている。
- ・退職前に知っておけば良かったことは「年金・保険」が51.6%（前回54.2%）、「資産運用」が44.6%（前回35.0%）